

## JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベント-089)

提出日 平成 17 年 12 月 1 日

### (1) イベント名

JGN II 南極かがく教室 ～白い大陸からのメッセージ～

### (2) イベント概要

「かがわから 未来を来たす ユビキタス」をテーマに、香川県、総務省の共催により 10 月 21 日から 3 日間、香川県高松市で開催された「地域 ICT 未来フェスタ in かがわ」においては、最先端の情報通信技術の展示やユビキタスネットワーク社会に関する講演・ワークショップが数多く行われ、3 日間で約 15 万人の入場者があった。

総務省四国総合通信局及び JGN II 四国連絡協議会では、本行事には大学、地元企業、自治体及びベンチャー企業関係者の多くが訪れることから、本年度における JGN II 利用促進のためのメインイベントとして位置づけ、「南極と科学技術、情報通信技術」をテーマに、会場と昭和基地、NICIT（小金井）及び愛媛大学を多地点接続し、小中学生による質問に各会場の諸先生が答える形で、南極で行われている最先端の研究開発や、遠隔地を結ぶ JGN II・衛星通信などの最先端の情報通信技術について紹介を行った。

また、イベントの様子は四国総合通信局のホームページを通じてインターネットによるストリーミング配信により全国に発信された。

なお、フェスタ開催期間中は、会場に JGN II 展示ブースを設置し、情報通信研究機構（テストベッド推進室、JGN II 高知リサーチセンター）の支援により、研究開発に関するパネル展示、岡山国体受信及び HDV 伝送を行うなど JGN II の PR を行った。

1 日時等 平成 17 年 10 月 23 日（日） 13:30～15:10

2 主催等 主催： 総務省四国総合通信局、国立極地研究所

共催： JGN II 四国連絡協議会、総合研究大学院大学

後援： 香川県教育委員会、情報通信研究機構、四国情報通信懇談会、  
四国情報通信協力会

協賛： KDDI 株式会社

### 3 プログラム

#### 記念講演

「昭和基地における情報通信の発展」 第 45 次越冬隊長 山岸 久雄 氏

#### ライブ交信コーナー

コーディネーター：香川大学医学部教授

原 量宏 氏

コメンテーター：第 45 次越冬隊長

山岸 久雄 氏

庵治町立庵治中学校校長

井上 浩 氏

愛媛大学工学部助教授

都築 伸二 氏

愛媛大学総合情報メディアセンター助教授

村田 健史 氏（遠隔出演）

情報通信研究機構宇宙天気 SG リーダー

亘 慎一 氏（遠隔出演）

<南極昭和基地会場> 第 46 次南極観測隊隊員（遠隔出演）

(3) JGN II 利用の概要

メイン会場であるかがわ国際会場（香川県高松市）から香川AP（四国—4）を經由して、NICT 小金井本部（関東—3）愛媛大学（四国—5）、徳島大学（四国—3）の間はL2接続によりMP E G 2で映像伝送を行った。また、会場と昭和基地の間はグローバルIP接続（L3）で国立極地研究所を經由し衛星回線によりM P E G 4による映像伝送を行った。

(4) 申請者(イベントの責任者)

所属機関： 総務省四国総合通信局

(5) イベントの利用にかかる連絡窓口

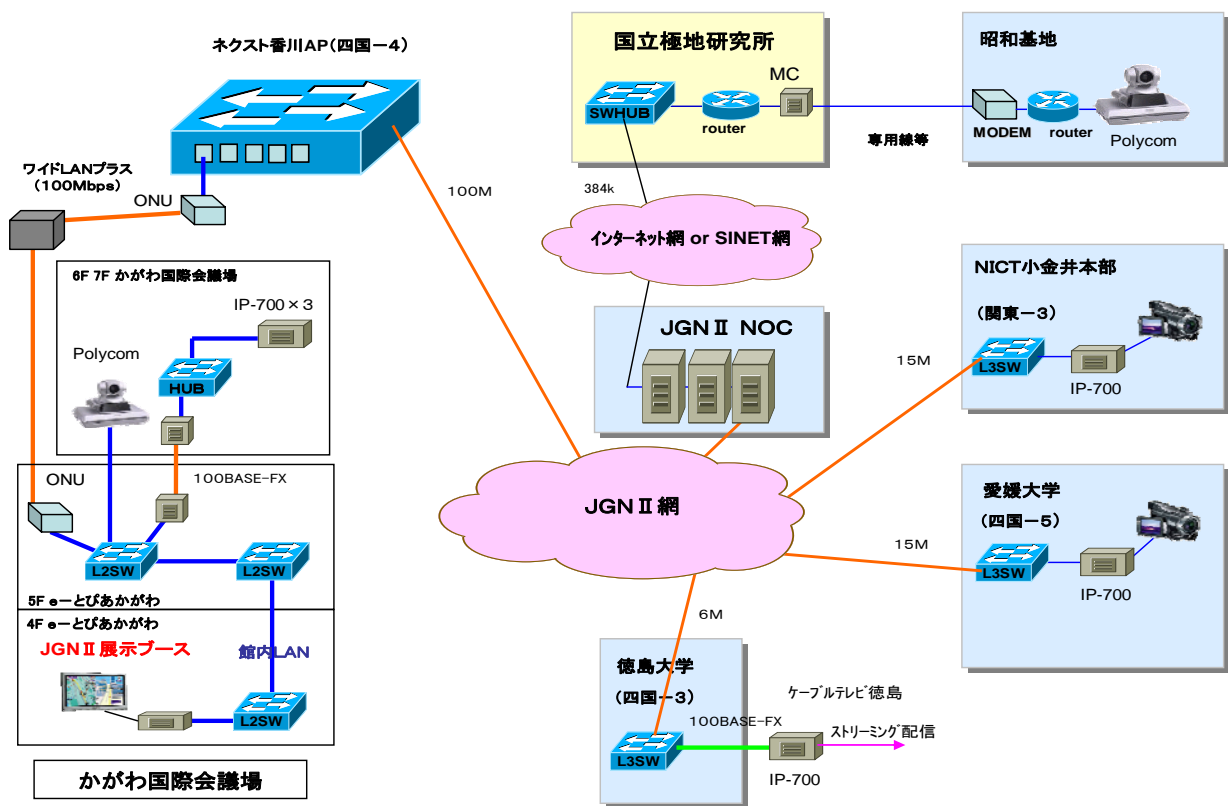
(NICT からイベント利用について連絡させていただく際の担当者)

所属機関： 総務省四国総合通信局

(6) トポロジ(NW 及び機器構成詳細)

ア. 接続概念図

JGN II 南極かがわ教室 ～白い大陸からのメッセージ～ 接続図



(7) 出席者

370名

## (8)実施の評価

### ア 評価

今回は「地域ICT未来フェスタ」という条件もあったが、国立極地研究所をはじめ諸先生方、教育関係機関及びNICTのご理解と多大なご支援により、地域情報通信技術開発の環境を提供するJGNⅡについて大変多くの方々にPRすることができたと考えられる。

また、技術の発展によって、高品質画像で遠隔地とのライブコミュニケーションができる時代になったことを小中学生に体験し、科学技術への夢をいなく機会を与えることができたことは、長期的ではあるが意義があったと考えられる。

### イ 開催模様

